

全国プラネタリウム大会 2015・前橋 ここが変わります！

2015 年 3 月 日本プラネタリウム協議会事務局

まだまだ先と思っていた 2015 年の全国プラネタリウム大会・前橋も、気付けば開催まで 3 ヶ月を切りました。そこでこの前橋大会での変更点をご説明したいと思います。

大会が開催されるのは群馬県前橋市にある前橋市児童文化センターさん。こちらのプラネタリウムはドーム径が 12m、座席が 100 席と、これまでの大会会場に比べて小さめであることが特徴です。最近の大会はおかげさまで参加者が 300 人に迫る勢いで、今回の会場ではこれまで通りの運営・プログラムでは実施することが困難です。そのため運営には大幅な工夫を凝らすことが必要となりました。

最近の大会では収容 200 人超のプラネタリウムドームを使って「研究発表・実践報告」「ドーム映像出展」「事業プレゼンテーション」というライブ発表をプログラムの主軸として行い、プレゼンテーションの内容で自分に関係の薄いものの時間にポスター発表やブース出展を見る、という形でした。

しかしこの方法ではどうしてもライブ発表に参加者が集中します。そのため収容人数の大きなプラネタリウムが必要でしたが、このような大規模館は数が限られます。また全国プラネタリウム大会も今年で 10 回目を迎え、この要件を満たしかつ大会開催を引き受けられる施設も底を尽いてきました。

このような課題を解決するため、前橋大会では以下のような変更を行います。

1. 発表者によるライブ発表は「研究発表・実践報告」に絞り込み、「ドーム映像出展」と「プロモーションビデオ出展」（従来の事業プレゼンテーション）は映像のみによる出展形式とする。

2. 「ドーム映像出展」はこれまでの映像上映＋ライブ発表という形式から、映像上映のみとする。ただし複数の視聴機会を設ける。

3. 「事業プレゼンテーション」は「プロモーションビデオ出展」（以下 PV 出展）に改め、ビデオ上映（4分以下のハイビジョン映像で内容は制限なし）のみとする。ただし複数の視聴機会を設ける。また「ドーム映像出展」「ブース出展」との同時申込みにおいて、出展料を免除する。

4. これらの施策により生まれるライブ発表の空き時間を、今回は開催館主導の「大会テーマ企画」に充てる。大会に開催館の特色を盛り込み、またある程度ターゲットを特化した企画を可能とする。

基本的なコンセプトは「深化」です。「研究発表・実践報告」「ドーム映像出展」「PV出展」「ブース出展」それぞれの特色を深め、ライブ発表である「研究発表・実践報告」以外は時間に縛られずに情報を得られる形にすることで、自分の必要な発表をチョイス、組み立てられるようにします。

なおこれらの施策はひとまず前橋大会においてのものであり、以後全ての大会に一律に適用するというわけではありません。会場館の規模に応じて今後も最善策を考えていくつもりです。

では順にご説明しましょう。

1. の「研究発表・実践報告」についてはほぼ従来通りです。発表者が登壇し、発表を行います。会員による一年間の活動発表の場の提供は大会の主目的です。これまで以上の活発な発表・報告を期待いたします。

2. の「ドーム映像出展」は、プラネタリウムドームを一日占有し(大会2日目を予定)、時間の許す限り繰り返し上映します。出展者数にも左右されますが、これまでの実績から算出すると6分間の映像で3回以上の上映が可能と算定しています。従来のやり方からライブ発表パートが削られることとなりますが、これは同時出展で無料となる「PV出展」をその代替とさせていただきます。

3. の「PV出展」はライブ発表から映像発表へと大きく様変わりする部分です。ここでいう映像発表とは「コマーシャル映像を繰り返し流す」ものとお考えいただければよろしいかと思います。ライブ発表の機会が失われる反面、映像による作りこみが可能となり、また会場を休憩室と兼用して参加者の目に触れる機会を増やすことで、従来の「事業プレゼンテーション」以上の効果を見込みます。もちろん映像を簡便に制作したい場合は、発表者が内容を語る様子を収録したようなものでも構いません。内容もほぼ自由です。サブライヤー企業に限らず、施設・団体のPR等にもぜひご利用いただければと思います。また「ドーム映像出展」または「ブース出展」との同時申込みで出展料無料(PV出展単独の場合は5千円程度の出展料を予定)の特典を活かし、相乗効果を狙うことが可能です。

4. の「大会テーマ企画」は今大会の新機軸です。今回の開催館である前橋市児童文化センターさんから大会を開催するにあたって「自分たちが重視している取り組みをアピールし、参加者のみなさんと共に考えるテーマを持ちたい」とのご要望がありました。そのテーマが「プラネタリウムで学ぶ宇宙～プラネタリウムの教育的効果を探る～」です。教育施設としてのプラネタリウムの在り方を、講演、パネルディスカッション等で掘り下げようという意欲的な企画です。研修会とはまた一味違った視点からのアプローチとなる「大会テーマ企画」、ご期待下さい。

なお全ての発表・出展はあくまで内容に基づくカテゴリ分けであり、会員種別や組織の形態による制限はありません。ただし今後もしも時間的に発表枠が枯渇するような場合、会員種別によって優先される／されないケースが発生することがあります。同封された「**会員種別に関する細則**」にもぜひ一度目を通していただければと思います。

ではそれぞれの発表・出展カテゴリの内容をまとめてみましょう。

【研究発表・実践報告】

- 広く会員に有益になる研究や情報の発表を募集します。
- 発表は口頭によるものとポスター掲示によるものがあります。
- 発表内容を参加者が利用、実践する際に、その対価を求めないものに限りませす。
- 営利事業、商用製品、商用サービス等に関する報告、紹介はご遠慮下さい。
- 逆に技術的な研究や考察、無料の素材やツールといった内容でしたら、サプライヤーでも発表可能です。ただし発表内容以外の製品等のPRにならないようご配慮願います。
- 発表は無料です。

【ドーム映像出展】

- 全天周映像のデモ上映枠です。
- プラネタリウムドームを使用し、6分間以下のデモ映像を上映出来ます。
- 全出展作品を大会二日目に複数回（3セット程度の予定）ループ上映します。
- これまでの発表者によるライブ発表パートはありません。映像の上映のみです。
- 出展は有料、1万円程度を予定しています。

【PV出展】

- プロモーションビデオ（ハイビジョン映像）の上映枠です。
- 上映会場は休憩室兼用とし、参加者に多くの視聴機会を提供します。
- 4分間以下（予定）のプロモーションビデオをループ上映します。
- 内容は公序良俗に反しないものであれば自由です。
- 大会終了後にYouTubeへアーカイブし、JPAサイトにリンク集を掲載予定（希望制）。
- 出展は有料（5千円程度を予定）、ただし「ブース出展」または「ドーム映像出展」との同時申込みで出展料が免除となります。

【ブース出展】

- 主に商用の製品、サービス等を専用ブーススペースにてご紹介いただけます。
- 出展方法等はこれまでと変更ありません。
- 出展は有料、1万円程度を予定しています。

【大会テーマ企画】

- 開催館主導によるテーマに沿った企画発表枠で、申込み制ではありません。
- 一部の方に講師、パネリスト等での参加を運営からお願いすることがあります。その際はぜひご協力をお願いいたします。

ここで「ドーム映像出展」と「PV 出展」の映像フォーマットをお知らせいたします。

【ドーム映像出展】

画像サイズ：2000×2000pixel を目安（1：1、偶数ピクセル）

※解像度変換の作業はいたしません、また 2K 以上はご遠慮願います。

連番形式：Jpeg、PNG（インターレース無し）。Targa は避けてください。

映像尺：6 分以内 音声：2ch Wav

装填時の同期確認用：映像と音声のタイミングが分かる QuickTime

※映像と音声の頭が揃っているのが望ましい。

【PV 出展】

画像サイズ：フル HD（1920×1080pixel）以下の 16:9 アスペクト比動画

※解像度変換の作業はいたしません。なるべくフル HD でお願いします。

映像尺：1 分、2 分、3 分、4 分のいずれかとします。

（視聴者が次の上映時間を算出しやすくするためです）

音声：モノラル or ステレオ（サラウンドは再生できません）

動画形式：QuickTime(mov)、WindowsMediaVideo(wmv)、MP4。

※なるべく H.264 コーデックの QuickTime 形式でお願いします。

黒み：映像の最初と最後に 1 秒ずつ黒み（黒一色の映像）を必ず入れて下さい。

黒みの部分は無音にして下さい。

表記：黒みを含む映像の全てに、出展者の名称をテロップで入れて下さい。

映像の邪魔にならない任意の場所で結構ですが、固定して下さい。

これは映像の出展者を視聴者が瞬時に判別するためのものです。

ご協力よろしくお願いいたします。

各申込みのスケジュールは以下の予定です。映像の送付先等は第一報でお知らせします。

第〇報発行	3月25日(水)
第一報発行	4月13日(月)
発表出展募集	4月13日(月)～5月1日(金)
ドーム映像提出期限	5月1日(金) ※送付先必着
参加申込	4月13日(月)～5月12日(火)
大会プログラム確定	5月4日(月) 頃
PV 出展映像提出期限	6月1日(月) ※送付先必着
開催初日	6月8日(月)

以上が前橋大会での主な変更点です。これらの変更理由はもちろん会場スペースの制約という面もありますが、それを逆手に取り、より充実した大会への第一歩としたいと開催館と運営が知恵を絞った結果の変更です。

会員を始めとする参加者の皆様には、ぜひ事情をご理解いただいた上で積極的なご参加とご協力をお願いいたします。